



報道関係者各位

2019年4月9日

プレスリリース

株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ

東京・南町田 新スヌーピーミュージアム ロゴマークとイメージパースを発表

株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ（本社:東京都港区、代表取締役:長谷川 仁）は、2019年秋に南町田グランベリーパークに移転し、六本木の約2倍の規模に拡大されて再オープンする スヌーピーミュージアム の新しいロゴマークとイメージパースを発表いたします。

新しいロゴマークは六本木と同じく、祖父江慎氏が率いるコズフィッシュが担当。ミニマルで都会的だった六本木のロゴに対し、公園やピクニックの楽しさをイメージしたデザインで、3つの頭文字「SMT」を強調しているのが特徴です。大きな公園に隣接するミュージアムの壁面には、新しいロゴマークがあしらわれる予定です。今回この建物の模型を、2019年4月13日から大阪で開催される「スヌーピーミュージアム展」で初公開いたします。

スヌーピーミュージアムは、これまでと同じくシュルツ美術館（米カリフォルニア州）の公式サテライトとして、ピーナッツやスヌーピーの魅力を貴重な原画や資料で紹介します。六本木の約2倍の規模となる館内には充実した常設展示室や専用のワークショップルームを設け、この場所でしか手に入れることのできないオリジナルグッズを販売、隣接するアネックスにはカフェも併設します。更に館外では、緑あふれる環境を活かした多彩なアクティビティを提供するなど、ミュージアムは新しく生まれかわります。

- 新スヌーピーミュージアムの5つの魅力
 - ① 充実した常設展示と日本初公開の原画を含む企画展示
 - ② 自分だけのスヌーピーがつかれるワークショップ
 - ③ オリジナルグッズを揃えたミュージアムショップ
 - ④ 隣接するアネックスに設けられたピーナッツカフェ
 - ⑤ 緑あふれる環境を活かした多彩なアクティビティ
- 延床面積: 約 2,600m² + カフェ約 200m² (アネックス)
- 企画協力: チャールズ M. シュルツ美術館 (アメリカ、カリフォルニア州)
- 開館予定: 2019年秋～冬



Sony Creative
Products

Sony Creative Products Inc.



ロゴマーク



外観イメージパース



■「スヌーピーミュージアム展」

六本木のスヌーピーミュージアムで開催した5回の企画展を凝縮した展覧会を、大阪と名古屋にて開催します。原画やスケッチ、ヴィンテージグッズなど約200点を選びすぎり、人気の高かったオリジナルグッズも復刻販売します。六本木で開催された5回の展覧会を見逃したファンの皆様にも、スヌーピーミュージアムの魅力をそのままお届けします。

2019年4月13日(土)～6月16日(日)

グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル イベントラボ

2019年6月22日(土)～9月1日(日)

名古屋市博物館

スヌーピーミュージアム 公式サイト: www.snoopymuseum.tokyo

■チャールズ M. シュルツ美術館とは

正式名称はチャールズ M. シュルツ美術館&リサーチセンター(Charles M. Schulz Museum & Research Center)。世界最大の「ピーナッツ」原画コレクションを誇ります。2002年に開館して以来、コミック・アートへの理解を深める企画展示や教育プログラムを実施してきました。そのほか、シュルツ氏の生涯や多彩な作品、世界中の読者に向けられた物語を紹介しています。

公式サイト <http://schulzmuseum.org>



■「ピーナッツ」とは

チャールズ M. シュルツ氏が初めて「ピーナッツ」の仲間たちを世の中に紹介したのは、1950年。「ピーナッツ」が7つの新聞紙上でデビューを飾った時でした。それ以来、チャーリー・ブラウン、スヌーピーをはじめとするピーナッツ・ギャングたちは、ポップカルチャーに不滅の足跡を残してきました。「ピーナッツ」のアニメ特番や帯番組は、米国ではABCのほか、アニメ専門チャンネルのCartoon Networkやboomerang、カナダではFamily Channel、そして世界規模ではYouTubeのWildBrainのネットワークなど、主要ネットワークやストリーミングサービスで放送されています。また、世界中のファンの皆様には、多種多様な商品、アミューズメントパークのアトラクション、文化イベント、ソーシャルメディア、そして伝統的な紙媒体からデジタルまで各種媒体で掲載されている連載コミックなどを通して「ピーナッツ」を楽しんでいただいています。さらに2018年、「ピーナッツ」は、NASAとスペース・アクト・アグリーメントで複数年の提携をしました。このスペース・アクト・アグリーメントは、宇宙探査とSTEMへの情熱を啓発するよう次世代の子供たちに向けてデザインされたプログラムです。



「ピーナッツ」のキャラクターおよび関連する知的財産権は、DHX Media（トロント証券取引所：DHX；ナスダック：DHXM）が41%、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントが39%、チャールズ M. シュルツ氏のファミリーが20%を保有しています。ソニー・クリエイティブプロダクツは、日本における「ピーナッツ」の独占エージェント権を2009年10月に取得し、Peanuts Worldwide LLCのエージェントとして2010年より本格的にライセンスビジネスを展開しています。本ミュージアムはチャールズ M. シュルツ美術館との共同事業として、ソニー・クリエイティブプロダクツが運営します。

■ 関連 URL

- ・ 日本のスヌーピー公式サイト <http://www.snoopy.co.jp/>
- ・ 日本のスヌーピー公式 Facebook ページ <https://www.facebook.com/SnoopyJapan>
- ・ 日本のスヌーピー公式 twitter アカウント <https://twitter.com/snoopyjapan>

■ 掲載原稿の確認をさせていただきますようお願い致します。また必ず下記のクレジットを表記してください。

© Peanuts Worldwide LLC（短縮形 © Peanuts）

【スヌーピーミュージアムに関するお問い合わせ】

スヌーピーミュージアム PR 事務局 (フルハウス内)

TEL : 03-6362-4273 MAIL : snoopy-pr@fullhouse.jp

【ピーナッツ全般に関するお問い合わせ】

株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ コンテンツ戦略本部 広報宣伝部

TEL : 03-6738-8156 (受付時間 : 平日 9:30~18:15、年末年始を除きます)

URL : <http://www.scp.co.jp>